

THE
44TH

REGULAR CONCERT



KOBE UNIV.
SYMPHONY
ORCHESTRA

神戸大学交響楽団 第44回定期演奏会

プログラム

大学祝典序曲 作品80

Akademische Festouvertüre op.80

ブラームス

Johannes Brahms

指揮 森 康 一

コンサートマスター 中 島 尚 人

交響曲 第3番 ヘ長調 作品90

Symphonie Nr.3 F-dur op.90

ブラームス

Johannes Brahms

I. Allegro con brio

指揮 天 沼 裕 子

II. Andante

コンサートミストレス 大 島 正 美

III. Poco Allegretto

IV. Allegro

バレエ「ロメオとジュリエット」作品64より

from "Romeo and Juliet" op.64

プロコフィエフ

Sergei Prokofiev

I. 導入

指揮 天 沼 裕 子

II. 街の目覚め

コンサートミストレス 大 島 正 美

III. モンタギュー家とキャピュレット家

IV. バルコニーの情景(ロメオとジュリエット)

V. 踊り

VI. タイボルトの死

VII. 別れの前のロメオとジュリエット

VIII. ジュリエットの墓の前のロメオ

IX. ジュリエットの死

日時 1994年12月17日(土) 7:00開演

場所 神戸文化ホール大ホール

後援 兵庫県・神戸市民文化振興財団・兵庫県オーケストラ協議会・神戸新聞社

客演指揮 天 沼 裕 子

埼玉県生まれ。

6歳よりピアノを始める。東京芸術大学音楽部作曲科に進み、北村昭、黛敏郎の両氏に師事。卒業後、指揮に転向し、カナダの指揮者で芸大客員教授のV. フェルドブリル氏に師事し、その後ザルツブルグ、ハノーファーにて指揮法、オペラを学び、フェルディナント・ライトナー氏に指事。

ハノーファー音楽大学在学中に、オルデンブルグ歌劇場（ドイツ）のコレペティトア兼指揮者として契約し、1987/88年のシーズンより指揮者として活動を始め、オペラ、コンサート、バレエを指揮し、室内楽の分野でも作曲家、ピアニストとして活躍し同劇場には1989年1月まで所属した。

1987年、88年には、シュレスヴィッヒ・ホルシュタイン音楽祭（ドイツ）で、故レナード・バーンスタイン氏の指揮コースの助手を務めた。

1988年、ヒルヴェルスム（オランダ）で開かれた国立放送主催第32回国際指揮者講習会（岩城宏之氏指導）で、最優秀指揮者となりベイヌム賞を受賞。アムステルダム・コンセルトヘボウにてオランダ国立放送管弦楽団を指揮した。

1989年、金沢に設立された室内オーケストラ“アンサンブル金沢”の初代常任指揮者に迎えられ、日本初の女性常任指揮者として注目された。また、新日本フィルのハイドン定期演奏会で東京でのデビューをはたす。（現在はフリー）

同年、“アンサンブル金沢”のヨーロッパ公演に同行しベルギー、フランスで指揮、好評を博した。フランクフルト（オーデル）フィルハーモニーのオーディションに合格、統一ドイツ後の年末特別演奏会でベートーヴェンの『第九』を指揮した。その成功は、フジTVのドキュメンタリー番組で放映された。

現在、日本での活動を中心にドイツ、チェコ等ヨーロッパで活躍している。



トレーナーの先生方

内 藤 謙 一 （大阪センチュリー交響楽団・コントラバス奏者）

宇 治 原 明 （大阪フィルハーモニー・首席ファゴット奏者）

宮 村 聡 （京都市交響楽団・首席トランペット奏者）

以上の先生方に御指導いただきました。この場をかりて御礼申し上げます。